

# JLEM NEWS LETTER Vol.19



## 第24回日本語教育方法研究会開催2

発表 28 件2

第25回は徳島大学にて

2005年3月19日(土)、第24回日本語教育方法研究会が東京工業大学で開催されました。久々の事務局と開催校が重なった会となりました。

仁科会長はじめ、小島先生、東京工業大学スタッフの皆さま、大変お世話になりました。

前日3月18日に、運営委員会が開催されました。研究会当日には臨時総会が開かれました。内容については、このレターの記事をご覧ください。

なお、次回の研究会は、2005年9月17日(土)徳島大学において開かれます。四国で開催される初の研究会となります。みなさまふるってご参加ください。

### 開催を終えて2

小島 聡  
(東京工業大学) 2

今年の春の研究会は3月19日(土)に東京工業大学で開かれました。東工大での開催は1994年以来2回目です。今回は3年前に竣工した西9号館で行いました。

発表は全部で28件あり、参加した会員数は約100名でした。口頭発

表会場は最新設備のデジタル多目的ホールでご満足いただけたのではないかと思います。一方、ポスター発表会場はパネルの配置がやや窮屈で、隣の発表との間隔が十分ではなかったようです。参加者の皆様には狭い中で議論していただくことになってしまい、申し訳ありませんでした。

今回は研究発表のほか、総会で会則変更を認めていただくという大きな仕事がありました。1年半前からの懸案で、無事承認していただくことができてホッとしました。個人的には、これが一番うれしいことでした。変更点については、このニュースレター内で別途説明します。

いろいろと至らない点があったと思いますが、多くの方々の献身的な働きのおかげで無事終了することができました。ご協力本当にどうもありがとうございました。

### 次回開催にあたって2

大石寧子  
(徳島大学)

今回は、9月17日(土)に初めての四国地区での開催となります。初めての試みに大いに不安はあるものの、四国地区もやっと仲間入りが果たせ

たという思いもあり、徳島大学でお引き受けすることになりました。徳島大学は2つのキャンパスがありますが、常三島(じょうさんじま)キャンパスで行います。

徳島へは、飛行機で東京から約1時間、関西の各地より高速バスが出ていて、例えば神戸からですと1時間40分程度です。常三島キャンパスは、空港からリムジンバスで約20分(大学前で下車)、徳島駅からは、車で約10分のところにあります。皆様がお考えになっているよりは、かなり近いのではと思います。これを機会に四国内での大学間の連携を更に強化すると共に徳島での日本語教育の啓発になればと思っております。東京、阪神地区はもとより各地からの参加、発表を大いに期待しております。

また日本語教育と共にこの機会に是非四国各地や徳島のよさを味わっていただければと思います。夏の吉野川や祖谷(いや)のかずら橋、鳴門の渦潮、藍で染えたうだつの町並み、海がめの産卵地・日和佐(ひわさ)などなど、研究会の後に憩いのひと時も是非持っていただければと思っております。

### 運営委員会報告2

第24回大会前日、3月18日午後6時より都内で運営委員会を行いま

した。審議事項は、以下の通りです。

### (1) 会則改定について

会則が改定され、3月19日の総会で承認を得ました。詳細は、会則改定WGからの報告をご覧ください。

### (2)10周年記念論文誌発刊について

日本語教育方法研究会発足10周年を記念して、「日本語教育方法研究会 十周年記念論文集」が発行されました。会員の皆様にはすでにお手元に届いていることかと存じますが、(株)凡人社でも販売中です。お手元だけではなく、ご所属の機関にもぜひ一部お求めください。

### (3)会計報告

平成16年度の会計報告、および、17年度の予算が承認されました。詳細は、会計からの報告をご覧ください。また、会費をATM等でご入金いただく場合には、**必ずご氏名から先に**ご入力ください。印字数の関係上、ご所属のみしか届かず、お名前が判明しかねる場合があります。

### (4)2006年度会長選挙について

会則の変更に伴い、新たな規則のもと執り行います。

### (5)次期開催校について

第25回大会を2005年9月17日(土)に徳島で行うことを決めました。大会実行委員は大石寧子氏、会場は徳島大学です。

(事務局 総田はるみ)

## 総会報告2

第24回大会当日の午後、仁科会

長の司会により総会が開かれ、以下の議題について承認および討議が行われました。現会員数335名のうち、総会出席者が1/10をこえ、定足数を満たしましたので、総会が成立したことをご報告します。諮られた事項は、以下の通りです。

### (1) 会則改定について

会則WGより会則改定案が提示され、総会で諮られ、承認を得ました。新会則の詳細は会則WGからの報告をご覧ください。

### (2) 会計報告

平成16年度の会計報告、および、17年度の予算が承認されました。詳細は、会計からの報告をご覧ください。

### (3)2005年度運営委員会のメンバーの承認

2005年度運営委員会のメンバーが承認されました。引き続き、本研究会を引っ張ってくださる方を探しております。お力をお貸しくださる方、ぜひ、事務局までご連絡ください。

### (4)次回研究会について

第25回大会を2005年9月17日(土)に徳島で行うことを決めました。大会実行委員は大石寧子氏、会場は徳島大学です。

ホームページ：  
<http://www.jlem.info/>

(事務局 総田はるみ)

## 会則が変更されました2

### (重要なお知らせ)

3月19日の総会で、会則変更が承認されました。主な変更点は次の

2点です。

#### 1. 会長選挙

旧 会員による直接投票

新 運営委員会による選出

#### 2. 運営委員

旧 会長が委嘱する

新 自薦・他薦により候補者を募り運営委員会で審議する

会長も運営委員も最終的には総会の承認が必要なことは、これまでの会則と変わっていませんが、運営委員会の役割が大幅に強化されています。運営委員会のメンバーが固定化されると会の発展にはマイナスとなりますので、適任者があれば積極的に推薦していただきますよう、お願いいたします。

なお、会則の全文は  
<http://www.ryu.titech.ac.jp/~jlem/pdf/kaisoku.pdf>  
にアップロードしてあります。

(事務局 小島聡)

## 会費納入について

振込先：(郵便局)

記号 10140

番号 69076511

加入者名：

日本語教育方法研究会

\*ご注意

この口座は電信払込しかご利用いただけません。

名前を先にお書きください

会費は3000円です。

\*2年間未納の場合は自動的に除名となります。

問い合わせ先：

[jlem@ryu.titech.ac.jp](mailto:jlem@ryu.titech.ac.jp)